

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

平成35年06月05日

船橋市長 殿

提出者



住 所 東京都千代田区三番町2番地

氏 名 執行役員本店長 瀧川 和志

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-5210-6162

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社松村組 東京本店
事業場の所在地	東京都千代田区三番町2番地三番町KSビル
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	12,400百万円
③従業員数	115人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別添 2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄			

備考備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。前年度の産業廃棄物
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。「当該  
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。  
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成  
工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規  
模が分かるような前年度の実績を記入すること。模が分かるような前年度の実績を記入すること。  
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまで  
の一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中  
間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間  
処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量  
を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行  
令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収  
施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)であ  
る処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者  
への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のと  
おり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の  
種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入  
すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、  
「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 別添 1 処理工程図

### ・解体工事

がれき類（コンクリート塊）⇨再生処理業者委託⇨再生砕石再資源化

木くず⇨再生処理業者委託⇨チップ（合材、燃料用）に資源化

### ・建設工事

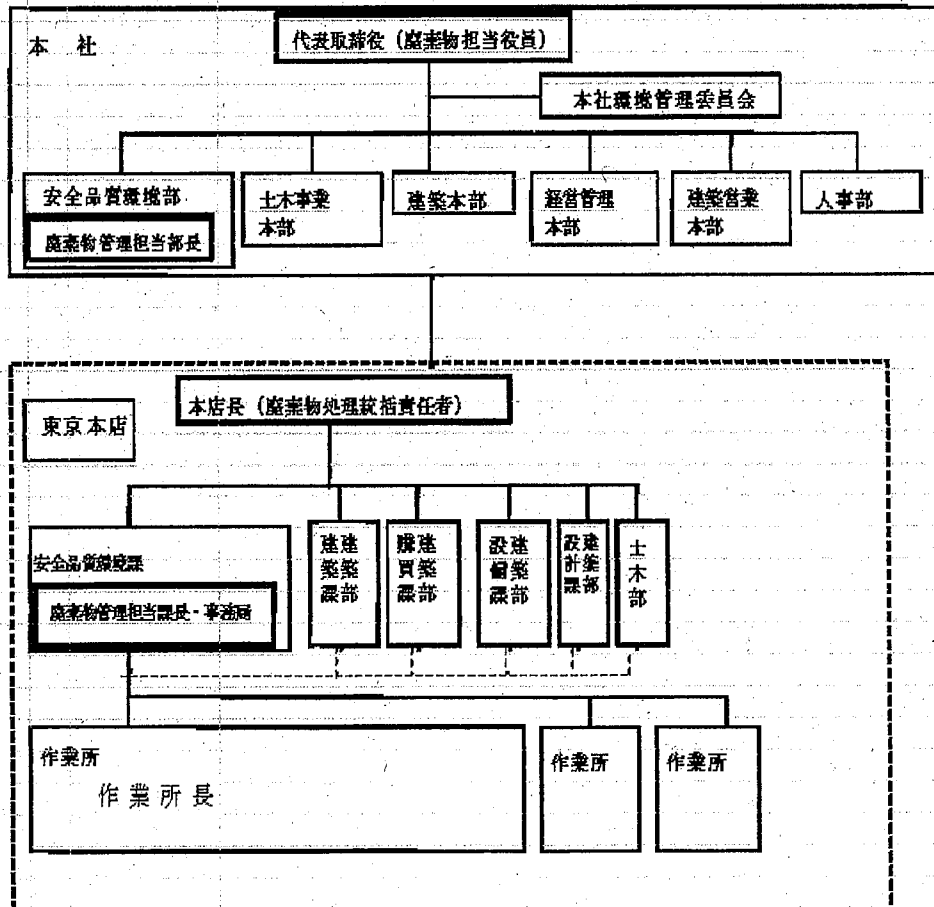
がれき類（コンクリート、アスファルト）⇨再生処理業者委託⇨再生骨材再資源化

汚泥⇨再生処理委託業者委託⇨埋戻し等に再資源化

別添2 管理体制図

統括責任者	所属：株式会社松村組東京本店 職・氏名：本店長 瀧川 和志
廃棄物担当	組織名：建築課、安全品質課、購買課組織人数：7人
役割	支店環境管理委員会 ○廃棄物処理に関する検討 ○廃棄物の発生抑制、再生処理、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 *委員長—支店長 *委員—関連部署部長 *事務局—安全品質課
	廃棄物処理統括責任者 ○廃棄物処理方針の策定 ○支店の廃棄物管理規程の策定・改定 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管理担当課長 (又は作業所長) ○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理0委託契約の締結 ○産業廃棄物管理票の交付・管理 ○特別管理産業廃棄物管理責任者、技術管理者等の設置 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育、啓発 ○その他関係する事項

廃棄物管理組織図





?

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項												
①現状	【前年度（令和4年度）実績】											
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	焼却混合廃棄物（管理型）				
	排出量	3,813.60 t	0.45 t	0.30 t	27.93 t	85.05 t	7.65 t	0.20 t				
②計画	【目標】											
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	焼却混合廃棄物（管理型）				
	排出量	3,432.24 t	0.41 t	0.27 t	25.14 t	76.55 t	6.89 t	0.18 t				
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項												
①現状	【前年度（令和4年度）実績】											
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	焼却混合廃棄物（管理型）				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
②計画	【目標】											
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	焼却混合廃棄物（管理型）				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項												
①現状	【前年度（令和4年度）実績】											
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	焼却混合廃棄物（管理型）				
	自ら焼回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
②計画	【目標】											
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	焼却混合廃棄物（管理型）				
	自ら焼回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

